

者の生活に付昭和十二年七月を一〇〇として比較したる生計費指数なり。

(1) 労働者

	一月	二月	三月	四月	五月	六月
札幌市	一五七〇	一五七二	一五九七	一六八八	一六五〇	一六八七
仙台市	一五九四	一六三二	一六〇二	一六四四	一六五八	一六七八
山形市	一七二四	一七二七	一七四三	一七七七	一七六一	一七五五
郡山市	一五九八	一六五五	一六四六	一六七二	一六五五	一六八九
前橋市	一六〇〇	一六八八	一六九二	一七二二	一七五七	一七三〇
東京市	一四八九	一五八八	一五八八	一六四四	一六八八	一六四四
横濱市	一五八七	一五七七	一六〇三	一六三二	一六七七	一六六一
新潟市	一六〇二	一六二二	一六五七	一六六二	一七二五	一七三三
金澤市	一五二〇	一五三二	一五五五	一六〇三	一六二五	一六二〇
松本市	一五九六	一五九二	一六二二	一六四二	一六五二	一六六一
濱松市	一六六五	一六八八	一七二二	一七五八	一七五三	一七五三
名古屋	一四八八	一五八二	一五七〇	一五八八	一六二七	一六四九
京都市	一五五三	一五七七	一五九二	一六三九	一六八八	一六五五
大阪市	一五三二	一五八〇	一五九二	一六三九	一六八八	一六五五
神戸市	一五三六	一五七七	一五九二	一六三九	一六八八	一六五五
鳥取市	一六〇五	一六二二	一六四六	一七〇二	一七〇六	一七二二
岡山市	一五六七	一五八四	一六〇四	一六三九	一六九三	一六九五
広島市	一六七四	一六九三	一七〇八	一七三六	一七七八	一七四四
徳島市	一六七四	一六九五	一七二二	一七三二	一七九二	一七八八
今治市	一五九〇	一六〇五	一六〇二	一六六九	一六八八	一六四四
八幡市	一四四〇	一四三三	一四三三	一四五五	一四四三	一四四五
長崎市	一四三二	一四三三	一四五六	一四六〇	一四六九	一四三〇
熊本市	一五六六	一五六二	一四〇二	一四七四	一四六二	一四六三
延岡市	一五六四	一五六九	一五八八	一五九六	一六〇三	一六〇三

(2) 給料生活者

ビルマの獨立

諸民族をして眞にその所を得しむることを目的とする大東亞共榮圈建設の方圖に隨ひビルマをして英帝國の羈絆より解放し之に獨立國としての待遇を附與せんとする方針は夙に帝國政府の正式聲明せる所であつたが、昭和十八年八月一日ビルマ國は獨立宣言並に對米英宣戰布告を以つて名實共にその宿志を實現するに到つた。

右獨立に關する帝國政府聲明及び東條首相談を掲ぐれば左の如くである。

帝國政府聲明

本一日ビルマは獨立を宣言し即日米英兩國に對し宣戰を布告せり、帝國は直に同國を承認し、之と同盟條約を締結し大東亞戰爭の完遂と大東亞の共同建設の爲、緊密に協力すべきことを盟約せり。

顧みるにビルマは英國の壓制下に呻吟すること既に

百有餘年茲に其の宿望を達成し獨立の榮を擔ひ今や驟然起つて帝國と共に米英擊滅の共同戰線に立つ之萬邦をして各々其の所を得しめ兆民をして悉く其堵に安んぜしむる肇國の大精神に基づき東亞積年の禍根を芟除して新秩序の建設を期せんとする、帝國の同慶措く能はざる所なり今や滿洲國は其の國力を擧げて帝國の戰爭遂行に協力し中華民國並にタイ國は既に帝國と完全なる協力の下に共同の戰爭完遂に邁進しつゝあるの秋、茲に亦ビルマ國の獨立蹴起聖戰參加を見るに至り大東亞の結束愈々固きを加へたり帝國は是等各國との提携を愈々緊密にして歐洲に於ける盟邦と相呼應して共同の宿敵米英を擊破し以て道義新秩序の建設に邁進せんことを期す茲に帝國政府の所信を中外に闡明す

東條首相談

本日ビルマは獨立を宣言して米英に對し宣戰するに至り、帝國は直にビルマ國を承認し、同國との間に同盟條約を締結した。

懷へば永きに亘り、ビルマは獨立の熱望を有し乍ら、英國の壓制の下に、塗炭の苦しみを續けて來たのである。然るに大東亞戰爭勃發するや、御稜威の下皇軍將兵の善謀勇戰に依り、忽ちにして米英軍はビルマより一掃せられ、ビルマ内外の情勢は全く一變するに至つた。ビルマ更生の回天の業は急速に進展し、ビルマ多年の宿望は大東亞戰爭開始以來僅かに一年有半にして達成せらるゝに至つたのである。茲にビルマ獨立の歴史的記念の日を迎へ聖恩の廣大無邊なるに感激すると共に、ビルマ國の爲沍に御同慶に堪へない次第である。本日の此の目出度き日を迎へ得る迄の間、ビル

マ獨立の爲に幾多の志士は英國の非人道なる壓迫の下に恨みを呑んで此の世を去つたのである。皇軍一度ビルマに作戦を開始するや、バー・モウ氏以下ビルマの人士は此等の志士の遺烈を承けて、心から皇軍の作戦に協力し、ビルマの獨立に、大東亞戰爭の遂行に、日夜渾身の努力を重ねて來たのである。其の間幾多忠勇義烈の皇軍將兵は戦場の華と散り、又幾多ビルマの勇士は崇高なる目的に殉じたのである。私は茲にビルマ獨立の爲に瘞れたる幾多の志士の偉功を偲び、今日のビルマ創建に盡されたるバー・モウ氏以下ビルマ民衆の奮闘と皇軍に對する協力とに對し、衷心より敬意と謝意とを表すると共に、皇軍將兵の世界に比類なきビルマ作戦の武勳に對し、深甚なる敬意と謝意とを表し、併せて戦場に瘞れたる皇軍及びビルマの勇士に對し謹んで敬申の誠を捧ぐるものである。

一國の獨立、殊に永きに亘る秕政の桎梏より脱して、一國が獨立することは、其の例必ずしも多しとしないのである。今日より獨立國ビルマの國民たるの光榮を擔ふことを得るに至つたビルマの人々こそ、誠に幸ひなりと謂ふべきである。

然し乍ら一國が獨立して堂々と成育發展して行くことは、固より容易の業ではない。將來ビルマ國が順調なる發展を遂げて行く爲には、ビルマの人々の並々ならぬ努力が愈々必要となるのである。而して帝國が今後愈々ビルマ國の興隆の爲、全幅の支援を加ふべきは亦贅言を要しない所である。

今やビルマの獨立も已に成り、米英多年の桎梏より大東亞を解放せんとする大東亞戰爭の目的は逐次達成せられつつあるのである。申す迄もなく、大東亞戰爭

の完勝なくして、大東亞解放の完成は期し得られないのである。固より大東亞戰爭の前途には幾多の困難を覺悟せねばならぬ。然し乍ら如何なる困難も之を克服し、如何なる障礙も之を突破して、御稜威の下必ず究極の戦勝を獲得する所に、帝國の輝かしき傳統があるのである。一億國民は大東亞十億民族の中核となり飽迄も、世界に冠絶せる闘志を以て、戦ひ抜き、勝ち抜かんとして居るのである。大東亞十億の民族は、愈々結束を強化して更に大東亞總力發揮の巨歩を進めんとして居るのである。我等に大東亞戰爭完勝の烈々たる闘志あり、大東亞十億の民族に、大東亞解放完成の牢固たる結束あり、大東亞十億の民族の前途正に洋々たるものありと謂ふべきである。

本日茲に新ビルマ國誕生の日に方り、私はビルマ國の順調なる發展を祝福すると共に、愈々大東亞各國家各民族の結束を強化し、益々歐洲盟邦諸國との提携を緊密にして、大東亞戰爭完遂、大東亞建設必成の爲に、邁進せんとする帝國の鐵石の決意を、更めて表明する次第である。

